

キャリアカウンセラー 育成プログラム



株式会社プランージュ

市村 修一

1. 背景

ビジネス及び社会環境は凄まじい速度で変化している。変化するビジネス、社会環境に対応するだけでは、企業の未来も、個人の未来もありません。既成にとらわれず、たえず創造し開拓していくことにこそ、それぞれの未来がある。時代に先駆けて進むものこそ、新たな歴史の扉を開くものである。

企業経営・組織の仕組みが、投下した資本に対してより高いコストパフォーマンスの追及へと向かうこれからの時代に、企業はいかに社員をモチベートするかと共に、社員、顧客、取引先及び社会からいかに魅力ある企業となるかが、より一層重要な時代になってきている。このような時代に必要とされるのは、「自律型キャリア競争力」をもった人財である。

2. 目的

上記1. の状況の下、一人一人が、キャリアカウンセリングを通して、自分のキャリア開発を明確に、自信を持って職業人生、ただ一度きりの人生を悔いなく生きていくための良き相談者であるキャリアカウンセラーの育成が急務である。よって、当キャリアカウンセラー育成プログラムは、高度な倫理観／能力を持ったキャリアカウンセラーの育成をすることを目的とする。

3. プログラム概要

本プログラムは、下記のコンポーネントより構成される。

I. 理論／技法

- ・キャリア開発の歴史（アメリカ／日本のキャリア開発の歴史及び現状と将来）
- ・キャリアカウンセリング理論（キャリアカウンセリングに関する基本理論）
- ・技法（キャリアカウンセリングに関する技法）
- ・法律／制度の現状と問題点（雇用関係に関する法律／制度に関する基礎的知識）

II. 実務

- ・倫理
- ・事例研究
- ・グループワーク

III. 情報

- ・労働市場情報の情報収集方法

4. 各コンポーネントの重要性／必要性

I. 理論／技法

●キャリア開発の歴史（アメリカ／日本のキャリア開発の歴史及び現状と将来）

今後の日本社会は、人材の流動化がより一層活発化し、自己のキャリア開発をどうしたらいいかを相談できるキャリアカウンセラーの存在は必要不可欠です。そのキャリアカウンセラーは、自分の専門職業人として、キャリアカウンセリング／キャリア開発の歴史、現状、将来について先進事例のアメリカに学び、我が国にどのように適応させていくかを学び理解することは、適切なカウンセリングを行う上で必要不可欠である。

●キャリアカウンセリング理論（キャリアカウンセリングに関する基本理論）

プロフェッショナルなキャリアカウンセラーとして、キャリアカウンセリングに関する基本理論を押さえておくことは、実際にカウンセリングを行う場合に、相談者の悩みや、考えに対して適切な分析を行的確なアドバイスを行う上で重要かつ不可欠である。

●技法（キャリアカウンセリングに関する技法）

プロフェッショナルなキャリアカウンセラーとして、キャリアカウンセリングに関する各種技法をマスターしておくことは、実際にカウンセリングを行う場合に、相談者の悩みや、考えに対して適切な分析を行的確なアドバイスを行う上で重要かつ不可欠である。

●法律／制度の現状と問題点（雇用関係に関する法律／制度に関する基礎的知識）

キャリアカウンセリングを行う場合、相談者がその場で満足するカウンセリングを行えたとしても、それが法律や諸制度に反するものであったならば、けして適切なアドバイス、カウンセリングとはいえません。そのためそのようなことを回避するために、雇用関係に関する法律／諸制度の基礎的知識は重要かつ必要不可欠である。

II. 実務

●倫理教育

キャリアカウンセラーは、相談者の極めて個人的なことの相談に応じ、アドバイスを行うわけであり、高い倫理観を必然的に要求されます。現在、政治経済社会、様々な分野でその職業倫理や人間としての倫理感の欠如が問題となっている。キャリアカウンセラーが社会的に高い認知と評価を受けるためにも、人としての倫理観、職業倫理をきちんと身につけることが重要であり必要不可欠である。倫理は、その人の内面・心の高さであるため日常の行動規範も高いものが要求されると考える。

●事例研究（グループワーク）

様々な事例についてグループワークを通してカウンセリングの内容、方法、アドバイスを学び習得することは、実際のカウンセリングを行うに当たり、相談者の内容の的確な把握、カウンセリングを行う上で、重要かつ必要と考える。

Ⅲ. 労働市場情報

●労働市場情報の情報収集方法

相談者のキャリア開発に当たり、現実の労働市場（相談者が在籍する企業も含む）で求められている人材や市場価値に関する情報をどのように収集するかの方法を現実に即した形で、アドバイスできることは、相談者がより具体的な行動がとれることとなるので重要かつ必要と思われる。

以上